

上手に運転してるのに、危険な運転といわれる。どうして？



運転って、ハンドルさばきが上手だとか
ブレーキ反応が早い、といった
操作だけじゃないんだよ。
その前の「よく見る」「注意して見る」ってことが
実はとっても大切！

まとめクイズ

危険な運転と思ったらYes、そうでなければNoを囲んでください

Q1. 先輩のAさんはカーブを曲がるときに、
キーツとタイヤを鳴らし、ガードレール
すれすれまで接近させることができる。
とても運転がうまいと思う。

Yes No

Q2. 野球好きのB君は、車を運転するときも、
カーテレビの野球中継をちらちら見ているが、
あれはとても危険だと思う。

Yes No

Q3. ふだんからせっかちな母は、イライラしている
ときはあえて車の運転をしないように
しているが、それは安全な態度だと思う。

Yes No

Q4. 車を運転中、警察や救急車が停まっている
事故現場のわきを通りかかった。
事故の状況を把握するため、
じっとそれを横目で見ながら運転したが、
それはわき見運転にはならない。

Yes No



→解答は次ページに！



まとめクイズの解答と解説

Q1. No

カーブの十分手前から減速していればタイヤは鳴らないはず。タイヤが鳴るのは、車が外に飛び出す限界を間もなく越えるということです。ふだんからこのような運転をする人は、事故を起こしやすいこともわかっています。

Q2. Yes

運転者が運転に関係のないものに目を向けることは大変危険。よそ見をしているその間に、目の前の交通状況は変わるかもしれません。慣れからくる「ながら運転」は危険です。

Q3. Yes

運転には、その日の気分や感情の動きが影響します。イライラや怒りなどは、運転に必要な冷静さや注意力を減らします。お母さんの態度は立派です。

Q4. No

もちろん、わき見です。わき見や安全不確認など、きちんと「見る」ことを怠ったコトが原因の事故が、事故原因の過半数を占めています。(コラム1:グラフ1)



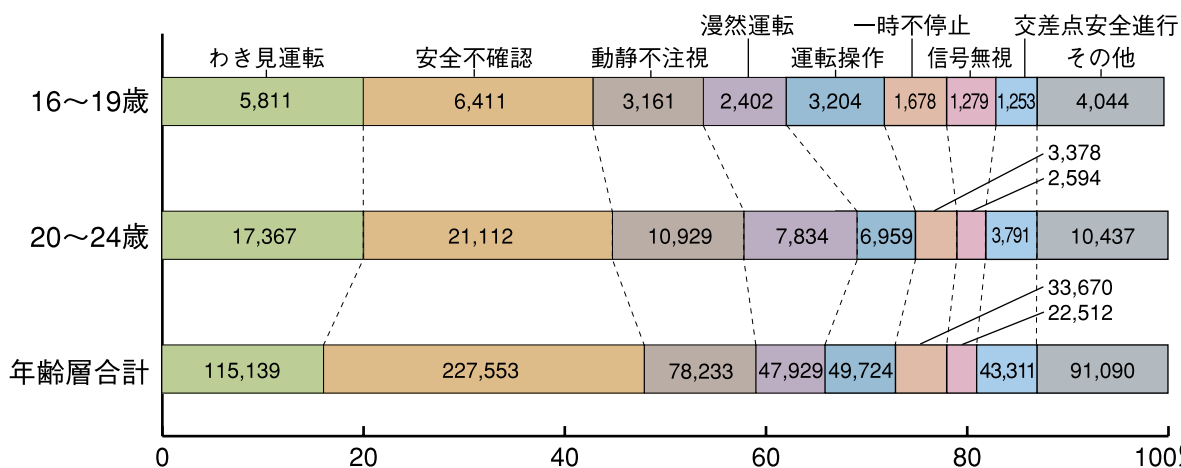
わき見は大きな事故につながります。

コラム 1

事故と違反

事故を起こしたときの違反は、操作に関するものより、わき見や安全不確認などが多いのです。

グラフ1 自動車(原付以上)運転者の法令違反別・年齢層別交通事故件数(第1当事者)*



(財)交通事故総合分析センター 平成20年

●運転に大切なことを理解する

運転は「見ること」「注意を向けること」が大事。

運転は見る→判断する→操作する というプロセスで行われる

四輪車や二輪車の運転で重要なのは車を操作する運転テクニック(操作スキル)と考えがちですが、実際には「わき見」や「安全不確認」という行為(認知、判断などのメンタルスキル)が、事故原因の多くを占めていると推定されています。

グラフ1(コラム1)は人身事故の第1当事者(加害者)になった車の運転者(原付以上)の主な法令違反をまとめたものですが、「わき見」「安全不確認」「動静不注視」「漫然運転」だけで過半数を超えています。4つとも、「見る」という行為に関係しています。

「見る」を誤ると、判断、操作ミスをまねく

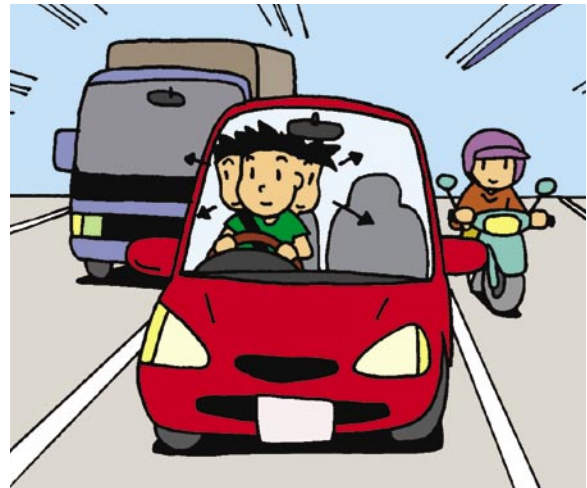
「わき見」は走行中に必要な交通の動きなどから一時的に目をそらし、別のものを見ていることをいいます。「わき見」には左右の風景に見とれるだけでなく、振り向いて同乗の友達に話しかけたり、ナビ、テレビ、

携帯電話の画面やプッシュボタンに視線を当てることも含まれます。その間、運転に必要な視覚情報はゼロになり、周りの車や人の動きに変化が起きれば、追突などの事故になります。

速度計を見る、ドアミラーを見るなど、運転に必要な情報を取るために進行方向から目をそらす行為も、長く見ていればわき見になります。1秒間に進む距離は15km/hでは4.17m、40km/hでは11.11mです。

「安全不確認」は、進む方向に危険があるかどうかを確認しないで、行動を起こしたことをいいます。「動静不注視」は、見ることは見るが、見えているものの意味や、それが持つ危険性に気づかなかったり、危険性を過小評価した結果、注意を向けるのをやめたり、対応しないことです。

運転は、認知(見ること)→判断→操作の繰り返しです。最初の「認知」を怠ると、その後の判断、操作に影響する、ということを忘れないようにしましょう。



前方一点だけでなく、周囲への目配り、気配りを忘れずに



新聞や本などの資料、インターネットなどを使って、調べて考えてみましょう

• 家族の運転する車に同乗するなどの際に、運転者がどこを見ているかを観察し、わき見をするときはどういときか、観察しチェックしてみましょう。



• わき見運転をしないためには、運転者はどういうことをすればいいと思いますか？ 同乗者として何ができますか？



• 道路上で、「危険だな」と思うのはどのような運転を見たときですか？





MESSAGE

多くの事故は知覚の誤り、「錯覚」で起こる

野口 薫 日本大学教授 千葉大学名誉教授

新聞やテレビで、若者がスピードを出しすぎて「運転の操作ミスで」カーブを曲がりきれなくて崖下に転落した、といったニュースを聞くことがあります。しかし実際は操作ミスではなく、そんなに曲がっているとは思わずにスピードを落とさなかったというような、認知・判断のミスなのです。

実際は100km/h出ている70km/hに感じたり、下り坂なのに上り坂に見えたりする「錯覚」は、健全な目と脳を持っている限り、いくら注意しても避けることができない厄介なものです。どのような交通場面でどのような錯覚が生じるか、あらかじめ理解しておいて、適切な行動をとる以外に方法はありません。

高校生ですと、実際に四輪車を運転することはあまりないでしょうが、ドライバーの目からは、歩行者、自転車、二輪車がどのように見られているかを理解しておくことが重要でしょう。